



# 広島工業大学創立50周年を出発点に、さらなる発展に向かって

広島工業大学  
副学長 玉野 和保

## 創立50周年のよこびを皆様と共に!

1961年、この三宅の地に広島工業短期大学が開学して今年で50周年の節目を迎えました。9月17日には大学関係のみならず、広く政財界からも合わせて600人を越えるご来賓をお招きして祝賀会を催しました。私も大学構成員の一人として大変嬉しく、心よりお礼を申し上げます。



開学式(昭和38年)

本学はこれまで地元の皆様をはじめ多くの方々のお力添えと卒業生の活躍によって、今や中四国における『工科系分野を総合する大学』に発展しました。46年前、設立間もない頃に学生として学び、その後本学の構成員に加

えていただいた私にとって、本学の半世紀の歩みには感慨無量の想いがあります。当時を振り返ると、今日の社会の情勢や大学の位置づけ、学生の気質は大きく変わってきました。多様性の深化、情報化の急速な進展によって、大学の使命や教育の在り方などが厳しく問われるようになってきました。その意味ではこの創立50周年の節目を新たな出発点にしなければなりません。

## これからの大学、本学の使命

これからの大学は、日本の将来を支える若者たちが、社会発展に十分寄与できる『人間力』を身に付けることを強く求められています。そのためには、年度始めの教授会での鶴学長の言葉『学生に対する想いを込めた、魂を込めた教育・指導を、いま一度強く意識してこれからの教育に取り組みなければならぬ』と『想いを込めた教育活動をする場が学校であり、想いを込めた教育活動をする集団が広島工業大学の教職員であり、想いを込めた教育(仕事)に集中できるのが我々である』をしっかりと受け止め、学生への教育を進めていかなければならないと思っています。

私立大学は今日、教育の多様性、すなわち産業社会と地域社会に適応できる国民の育成と、多層性すなわち年齢にかかわらず必要な教育が受けられる生涯学習環境で高度な知識基盤社会を支える人材

を育成することが強く求められています。多様性をもった高等教育の場、地域社会に貢献する人材育成、学生を原動力とした地域社会の発展の核、そして地域社会における知的コミュニティの創造などを担うことが私立大学の使命だと思います。本学は3学部11学科と大学院6専攻を含めて総計4,600余名の学生が在籍し、これまで社会の様々な分野で活躍している40,000名もの人材を送り出し、私立大学の使命を果たしてきました。これら本学の学生や卒業生の活躍の背景には、本学の建学の精神と教育方針があります。



感謝の会

## 建学の精神と教育方針に立ち返って

建学の精神『教育は愛なり』とは、想いをこめて教育にあたること、学生の現実にきちんと向き合い、どういう教育をどのようなプログラムで展開すべきか、それが学生の何を養うことになるのか、どういう人材育成につながるのか、と想いをめぐらし、我が子であればこのようにしてあげたいと思うことを実行し



建学の精神(石碑)



感謝の会

ていく精神だと、語られています。また教育方針『常に神と共に歩み社会に奉仕する』とは、それが想いを込めた教育活動であったとしても、絶えずこれでいいのか更に工夫できることはないのか、他者の目、神の目から厳しく自己点検するという自らを律する精神であり、このことは私たち教職員が実践しなければならぬことと語られています。これらの建学の精神と教育方針を具体的に実践できてこそ、学園創立者鶴 襄先生が、学園創立10周年の挨拶で『この学園の教育内容がよくなり立派な先生、立派な児童・生徒・学生が多いということが土地を提供して頂いた人たちへお報いすることであり、私たちがずっとやってきた「公の教育」と

いうことに対しても報いることになると思います』と言われたことにお応えできるとも思っています。これまでの教育を振り返り、これからを考え実行に移すとき、上述の言葉をしっかりと受け止めていかなければならないと思っています。

## さらなる飛躍へ!

大学は今や我々が学生を選ぶ時代ではなく、学生・保護者から選ばれる時代になっています。私たちは今一度、建学の精神と教育方針を深く受け止めて、教職員のみならず卒業生、地域、経済産業界の方々と一緒に力を合わせて、地域、日本、さらに世界で活躍できる『愛と奉仕の精神を持つ豊かな人材育成』に努めていかなければならないと思います。

本学は創立以来これまで面倒見の良さを誇ってきました。これは『もし学生が自分の子供や兄弟姉妹であったら、最も良いことをしてあげるに違いない。

そのようにすることが教育である。』という校祖 鶴 虎太郎先生の信念にもとづく伝統の精神です。本学はこれからも「一人」を育てる柔軟な教育をもとに、「一人ひとりにぴったりと合うオーダーメイドの教育」をモットーとして学生の可能性を十分に引き出し、学生が感動し満足する高い教育を目指さなければならぬと思っています。

来春からは生命学部がスタートします。これは生命科学に関する工学技術の進化と高齢化、食糧問題などの社会ニーズに応えるためです。これからは工学、情報、環境の3学部生命学部を加えた4学部『工科系分野を総合する大学』になります。大学創立50周年の節目は、出会いと絆(Nexus)を大切にしながら、これからの社会発展に貢献できる人材を育成するキャンパスづくりに向けて飛翔する、出発の時なのだと思います。



海と連なる森のキャンパス



新しく生まれ変わった人工芝のラグビー・サッカー場「グリーンフィールドH.I.T.」